

ふるさとひょうご寄附金 兵庫陶芸美術館「最古の登窯焼成公開事業」

みなさまからお寄せいただきましたご寄附をもとに、子どもたちへの感動体験事業等を展開しています。

令和6年度、7年度は大阪・関西万博に合わせて実施される「ひょうごフィールドパビリオン」を見据えた事業にも取り組みます。引き続きご支援くださいますようお願いいたします。

ふるさと納税制度による令和5年度ふるさとひょうご寄附金の県立美術館・博物館応援プロジェクト・兵庫陶芸美術館「最古の登窯公開焼成事業」に多くの皆様からのご賛同、ご支援をいただきました。心からお礼申し上げます。



令和5年度寄附金額

件数	金額
17件	301,000円

(1) 最古の登窯焼成の公開とおもてなし

令和5年5月2日～4日の最古の登窯の焼成期間及び「丹波焼の里春ものがたり」の期間(5月3日～5日)を通して、一般の方に自由に見学いただくとともに、丹波焼の里サポーターの協力を得て現場での案内解説などを行いました。



(2) やきものづくりと最古の登窯の焼成体験の開催

親子で、やきものづくりと薪くべなど最古の登窯での焼成体験を行うこの事業。令和5年5月の焼成時には、1300度に達する登り窯の炎を体感し、薪入れという貴重な体験をしました。

次回焼成は令和7年5月末となります。



(3) 子どもたちにやきものづくりの感動を届ける出前講座の開催

丹波焼の里へ出向くことが困難な小学校等を対象に、「丹波立杭焼伝統工芸士会」とボランティアグループ「陶芸文化プロデューサー」、兵庫陶芸美術館が連携して学校へ出向き、やきものづくり体験を行う出前講座を6校12クラス開催しました。約350名の生徒を対象に、伝統工芸士による電動ロクロの実演や生徒による体験、丹波焼の土を使った器づくりなど丹波焼を知る有意義な時間を過ごしました。

